

令和4年度 市長の施政方針について



衣笠 利則 議員
(21政会・加西ともて育つ会)



問 施政方針の3本柱である、「子育て世代にやさしいまち」、「多様性が尊重される社会」、「脱炭素社会」の具体的な内容は、

答 (市長) 人口を増やすために今何をやるのかという問題意識の中で、修正を加えてできることは頑張っていていこうと、3本の柱を打ち出しました。

1つ目は、「子育てにやさしいまち」を目指して、小中特別支援学校の給食費、ゼロ歳から2歳の保育料、病児病後児保育料を無償化し、既に実施している施策を含めて5つの無償化を実施します。第

2期行財政改革プランで財政面の見通しが立ったことにより、大きな一歩を踏み出しました。子育て世代に響くようなインパクトのあるプロモーションを行い、加西市から出られた方が帰ってこられるよう、また、子育てにやさしいまちだと認識されるよう、積極的に働きかけをしていきます。

2点目は「多様性を認め合い、尊重する社会」を目指します。教育委員会で進めるSTEAM教育では、多様性の尊重が大きな柱になっており、このような特色ある教育は子育て世代にとっても魅力的であると考えます。加西で子育てし、教育を受けたいと思えるよう、教育内容の充実を図ります。

3点目の「脱炭素社会」は、世界的な流れで、未来を担う世代に対する社会的責任です。加西市がこのような先進的、先見性のある取り組みをし、結果を出すことに

より、若い方が市に対して好ましいイメージを持ったり、また市民が誇りを持つことができると思っています。

意見 社会全体の動きを見ていると、加西市はまさに先陣を切って、いち早く施策を進めているが、施策のプロモーションをしっかり行う必要がある。コロナ禍ではあるが、絶えず冷静に市政を進めていただきたい。



■その他の質問項目

- ・加西市の農業問題について
- ・北条鉄道の安全輸送について

新型コロナウイルスワクチン接種について



高見 博道 議員
(令和新風加西)



問 5歳から11歳の方へのワクチン接種について、現在の状況をお伺いします。

答 5歳から11歳までの子供のワクチン接種は、3月8日から個別接種を開始します。対象者には2月28日と3月2日に接種券を送付し、準備が整った市内の7医療機関で順次接種を開始していただく予定です。また、健康福祉会館での集団接種は、3月下旬から4月上旬の間で実施できるように準備を進めています。

問 2回目のワクチン接種について。

答 5歳から11歳では小児用のファイザー社製ワクチンを使用します。小児用として濃度が調整されており、12歳以上で使用するワクチンとは別製剤です。接種間隔は12歳以上と同じで、3週間の間隔で2回目の接種を行います。量は1回0.2ミリリットル、12歳以上では1回0.3ミリリットルとなり、濃度が違うために有効成分の量は12歳以上に接種する量の3分の1になります。

問 子供のワクチン接種に当たっては、保護者や家族が同伴されますが、仕事などの調整が必要になってきます。こども園や小学校での集団接種の実施予定は、

答 学校等を会場とする集団接種については、実施方法によっては保護者への説明の機会が乏しくなる、また、接種への個々の意向が必ずしも尊重されずに同調圧力を生みがちになる、接種後のきめ細かな対応が難しいといった制約があることなどから、国も推奨していません。そのため、加西市においても学校やこども園での集団接種は考えていません。



■その他の質問項目

- ・加西インター産業団地について
- ・キャッシュレス事業について